

藤原宮の役民の作る歌

五〇番

やすみしし 我が大君 高照らす 日の皇子 あ
らたへの 藤原が上に 食す国を 見したまはむ
と みあらかは 高知らさむと 神ながら 思ほ
すなへに 天地も 依りてあれこそ いはばしる
近江の国の 衣手の 田上山の 真木さく 檜の
つまでを もののふの 八十宇治川に 玉藻なす
浮かべ流せれ そを取ると 騒く御民も 家忘れ
身もたな知らず 鴨じもの 水に浮き居て 我が
作る 日の御門に 知らぬ国 よし巨勢道より
我が国は 常世にならむ 凶負へる くすしき亀
も 新た代と 泉の川に 持ち越せる 真木の
つまでを 百足らず 筏に作り のぼすらむ
いそはく見れば 神からならし